

研究に関する情報公開

福島県立医科大学附属病院小児外科では、本学理事長竹之下誠一および倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2022年6月 福島県立医科大学 学長 竹之下 誠一
福島県立医科大学附属病院小児外科 南 洋輔

【研究課題名】

先天性十二指腸閉鎖術後に閉塞性黄疸を呈するリスク因子検討に関する研究

【研究期間】

2022年6月～2024年3月

【研究の意義・目的】

先天性十二指腸閉鎖症（以下DA）は、生まれつき十二指腸の内腔が閉鎖しており、口からミルクが飲めないため出生後に手術が必要不可欠な病気です。その術後に身体の皮膚や目が黄色くなる「黄疸」が出現することがあり、手術に関連した合併症や他の病気を考慮しなければなりません。その他にもいくつかの原因が存在しますが、診断に困ることもしばしば経験します。そこで、過去に本学附属病院で手術を行ったDAの患者さんについて調査し、DAの患者さんに黄疸が出現した際の治療方針について検討します。

【研究の対象となる方】

2009年1月から2021年11月の間に本学附属病院でDAと診断されて手術を受けた0歳から15歳までの患者さんを対象とします。

【研究の方法】

上記対象者のカルテから以下の項目を抽出して分析します。

項目は、性別、在胎週数、出生時体重、ダウン症候群や先天性心疾患など基礎疾患の有無、胎児期にDAと診断されていたか、手術時日齢、DAの閉鎖様式、輪状瘻の有無、DAに対する術式、小腸への栄養チューブを挿入したか、経管栄養や経口摂取の開始時期、直接ビリルビンが上昇した時期および持続期間、利胆薬内服の有無、乳アレルギーの有無、超音波検査またはMRIによる画像評価を行ったか、またそれによって閉塞基点を認めたか、です。

【研究組織】

研究責任者 福島県立医科大学附属病院小児外科 南 洋輔
研究分担者 福島県立医科大学附属病院小児外科 田中秀明、清水裕史

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学附属病院小児外科 担当 南 洋輔
電話:024-547-1255 FAX: 024-547-1981
E-mail:y-minami@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方

に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学附属病院小児外科 担当 南 洋輔

電話:024-547-1255 FAX: 024-547-1981

E-mail:y-minami@fmu.ac.jp